

「ゆずり葉」製作ニュース

【第19号 2008年12月26日 全日本ろうあ連盟創立60周年記念映画製作委員会事務局】

今年1年間、ご支援いただき、ありがとうございました。
来年の上映に向け、これからも一層のご支援のほどお願い申し上げます。

今年1年間、ありがとうございます！
～映画製作委員会事務局長 久松三二～

何をやるにしても初めての試みで試行錯誤を繰り返しながら映画製作に取り組んできました。映画製作の経験のある専門家に相談しながら脚本の検証、ロケ・スケジュールの調整、新聞社・テレビ局のマスコミ対応、制作会社との折衝、役者の選定、宣伝活動、資金作り等取り組んでまいりましたが、一年を振り返って加盟団体の存在ほど頼りになるものはなく、本当に加盟団体の皆様の暖かい励まし・ご支援に支えられた一年でした。

「ゆずり葉」という映画はほぼ完成に近い状態で仕上がりが来月の下旬に納品される予定です。これまでもニュースでお知らせしましたように優秀な監督やスタッフ、有能な役者の頑張りによって制作された映画ですが、その陰には加盟団体の皆様を初めとする多くの仲間たちの多大なご協力をいただきました。仲間たちの支えなしには制作することのできなかつた映画です。まさに仲間たち一人ひとりの力が結集して完成させた映画と言えます。ここに皆様の暖かいご支援にあらためてお礼を申し上げます。

来年は上映活動の年です。加盟団体の皆様のご期待に応えることができるよう努力していく所存ですので、引き続きご指導ご支援を賜りたくよろしくお願い致します。

～「ゆずり葉」PRチラシ

発送のお知らせ～
長らくお待たせして申し訳ありませんでした。「ゆずり葉」PRチラシが間もなく出来上がります。

1月上旬には各地域へ発送する予定です。ご活用をお願いします。

(活用例)

- ・会員への配布
- ・寄付活動(講演など)での配布
- ・地元の団体・企業への寄付や支援依頼
- ・ろう学校への配布
- ・ろうの子供や青年への配布

木村敬一(主役)の古い友人を演じた池中さん(静岡県聴覚障害者協会理事)の映画にかける想い

友人役のオーディションを受けて、撮影に入りましたが、始めは勘違いしていました。これまで、映画やテレビに何度か出たことはありますが、いつも台本にあるセリフのまま、丁寧に手話を表していました。今回もセリフのまま手話を表さなければいけないと思いこんでいました。それが、早瀬監督から指導があって、ろう者がありのままに表している自然な手話でやってほしいと言われたんです。こんなことは初めてで、感動しました。おかげで、いつもより気が楽でとても楽しい撮影でした。

家が静岡なので、撮影現場までの移動に時間がかかったのだけが大変でした。でも、撮影現場に着くと、スタッフはほとんどが健聴なのにも関わらず、拙い手話や身振りで何とかしてコミュニケーションをはかろうと努力してくれていました。ろう者と健聴者がお互いに理解しあおうとしている、とても良い雰囲気でした。この映画が上映されて、社会もこの撮影現場のように、良いように変わってほしいと強く思います。

<CS放送>

1月1日放送の「目で聴くテレビ 2009年新年番組」で、映画「ゆずり葉」出演者新春対談が予定されています。

放送時間は18:00～19:00です。

お楽しみに!!!

【お詫び】

今週の製作ニュースはお休みの予定でしたが、皆様へのお知らせがあるため、発行させていただきました。次回発行は、平成21年1月9日の予定です。皆様、よいお年をお迎え下さい。